

ニュース・リリース

2003.11

東京時間 11月12日 14:30 (GMT 0630hrs) 以降に発表して下さい

バードライフ・インターナショナルが、 アジアの鳥類を絶滅から防止する青写真を発表

11月12日東京発 — 今や人類の半数が生活するアジア地域では、8種に1種の割合で鳥類が絶滅に瀕しており、それら鳥類を絶滅から守るために画期的な指針が行政や市民団体に向けて発表された。本日、東京で開催された出版記念式において、高円宮妃殿下は「アジアの鳥を絶滅から守ろう」という青写真を発表された[1,2]。

バードライフ・インターナショナルは、クリティカル・エコシステム・パートナーシップ基金からの資金援助を受け、アジアにおいて絶滅に瀕した324種の鳥を絶滅から守るための指針を作成した。絶滅危惧種はアジアに生息する鳥の12%にあたっている[3,4]。アジアでは、すでに41種の鳥が特に絶滅に直面しており、IUCN（国際自然保護連合）が規定する絶滅危惧IA類に分類されている[5]。これらのうち、インドネシアに生息するジャワトサカゲリ（チドリ科）、インドやミャンマーに生息するバライログモ（カモ科）を含む11種はすでに絶滅し、バリ島のカンムリシロムク（ムクドリ科）を含む6種は、野外での生息数が50羽以下と推定されている。

世界規模で絶滅が危惧される鳥類にとって極めて重要な生息地が100ヶ所以上も保護されないままであるということが、この指針の最も重要な指摘であり、バードライフ・インターナショナルでは、それらの保全が最重要課題であるとしている。バンガイヒタキ（ヒタキ科）など3種の絶滅危惧IA類の鳥が1つの小さな森に住むインドネシアのサンギヘ島、同じく絶滅危惧IA類のミンドロヒムネバト（ハト科）の主要生息地であるフィリピン・ミンドロ島にあるシブランの森などである。

この指針では、アジアにおける絶滅危惧種の主要な生息地が熱帯低地湿性林であることを強調している。ここにはアジアで絶滅に瀕している324種の鳥類のうち50%以上の種がみられる。アジアの鳥類にとって、森林の喪失は絶滅への主要な原因であり、木材用伐採、製紙用伐採、農園建設などによる森林喪失や劣化は今なお続いている。インドネシアには117種の絶滅危惧種がみられ、その種数はアジアでは1位、世界的にもブラジルについて第2位となっており、保護対策を進めるために世界的な支援が緊急に必要といえる。アジアでは、中国の絶滅危惧種78種が第2位であり、ついでインドの73種、フィリピンの70種となっている。

アジアで第2番目の絶滅要因は、湿地の攪乱または転換である。それは絶滅危惧種の20%をしめる鳥にとって重要であり、その中には絶滅状態に極めて近いソデグロヅル（ツル科）やクロツラヘラサギ（トキ科）などの水鳥が含まれる。ヘラシギやカラフトアオアシシギなど渡りをするシギ類もまた、湿地の喪失が重要な問題であり、特に今なお大規模な干拓事業が推進されている黄海沿岸（韓国と中国の間）における湿地喪失は重大な意味を持っている。アジアの鳥類に対する、その他の主要な脅威は、食料用の狩猟、愛玩用の鳥の売買などがある。

この方針では、鳥類を絶滅から保護するための基本的な解決策を提案し、具体論として33ヶ所の優先保全地区のそれぞれについて必要な保護対策を示している。バードライフ・インターナショナルではフィリピンの森林など危機に瀕した生息地の保全に対策を集中させることが最善の方法であると主張している。それは、一ヶ所を保全することにより絶滅危惧種の数種を保護することが可能だからである。本日の発表で、バードライフ・アジアの市田則孝代表はアジアで絶滅に瀕した鳥類を保護するために重要なこととして、以下のような活動を提案している。

- 絶滅危惧種の渡りのルートに沿った湿地を保全すること、特に中国と韓国の間の黄海沿岸で、朝鮮半島の非武装地帯を含めた地区の干潟や湿地を保全する。この地区はわずかに残った原生自然地区であり、「緑と平和の国際公園 Transboundary Nature Park」に指定すべきものである。
- マレーシアとインドネシア西部に残る熱帯低地林を、法的枠組み、土地利用計画、持続可能な森林管理計画、民間セクターによる支援などによって保全すること。
- 絶滅危惧種にとって重要でありながら保全されていない地区、特にフィリピンとインドネシア東部のマルク地方の保全をすること。
- 保護対象種、特にオウム類の商業取引が盛んに行なわれていることから、ワシントン条約（CITES）の施行を強化すること。
- 情報のほとんどない種が絶滅する前に保護対策がとられるように、十分な調査を進めること。

「アジア地域は、この上もなく貴重な多数の鳥類に恵まれています。私たちは、この貴重な宝ものを失ってしまう危機にあるのです。今、環境問題は地球規模の懸念に拡大しており、私たちは聡明さと誠実さをもって行動することが急務です。私はバードライフ・パートナーシップと共に、世界をこの指針の方向に導くための努力が出来ることをうれしく思います。」とレアバード・クラブでアジアの総裁をおつとめになる高円宮妃殿下は仰っておられる。

「この指針を出版し、行政その他の関係者が利用出来るようにすることは、アジアの鳥類保護にとって大きな一歩です。指針の示す3つの主要課題は、私の気持ちを奮い立たせています。未調査のスダランド熱帯雨林の急速な消失、多くの極めて重要な地区に対する保護システムの欠陥、そして野生鳥類の商業取引です」とバードライフ・インターナショナル事務総長のマイク・ランズ Michael Rands 博士は語っている。

「本日、発表された指針は、アジアにおける希少鳥類や風前のともし火の鳥類生息地を保護するための必要な基本的行動を一括して明確に示しています。私たちは、この指針がより効果的な保護活動を立案し実施するための『レシピブック』あるいは案内書として使われることを願っています。」とコンサーベーション・インターナショナル上級副会長で、CEPF 統括責任者のヨーゲン・トムソン Jorgen Thomsen は語っています。

詳しくは下記にお問い合わせ下されれば幸いです。
日本では、バードライフ・アジア事務局のエイド・ロング Mr.Ade Long、電話 03-3351-9981、携帯 080-3005-1224 または e-mail : rg.birdlife@zd.wakwak.com にお問い合わせ下さい。絶滅危惧種の鳥類や生息地の写真は : <http://www.birdlife.org/news/pr/index.html> または、あらかじめお問い合わせ頂ければ上記から、発表解禁日以降に入手可能です。市田則孝、Michael Rands, Jorgen Thomsen 各氏へのインタビューも手配致します。

編集者用注 :

- 1) 高円宮妃殿下はバードライフ・インターナショナルの「レアバード・クラブ」のアジアを担当される名誉総裁で熱心なバードウォッチャーです。
- 2) 「アジアの鳥を絶滅から守ろう : 行政、環境団体および市民へのガイド」は東京新宿のバードライフ・アジア事務所でご覧頂けますし、英国の Natural History Book Service. Tel 44-1803-865913 Fax 44-1803-865280, E-mail : sales@nhbs.co.uk から入手可能です。
- 3) バードライフ・インターナショナルは : 世界 105 カ国の環境・鳥類保護の NGO が連帯する国際環境 NGO です。鳥類に関する情報、生息地、生態などに影響を与える諸問題や課題に指導的な役割を果たしています。昨年 4 月、東京にアジア地域担当の事務所を開設。
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-12-15 東洋新宿ビル 2 F
バードライフ・アジア Tel 03-3351-9981

- 4) クリティカル・エコシステム・パートナーシップ基金 (CEPF) : 生物多様性が豊かであるにもかかわらず破壊の危機に瀕する地域 (生物多様性ホットスポット) の保全を大幅に進めることを目的とする世界銀行、地球環境ファシリティ (GEF)、マッカーサー財団、日本政府、そしてコンサベーション・インターナショナル (CI) による共同基金。NGO、市民団体や研究機関などがホットスポット地域での生物多様性の保全に参加することを支援している。www.cepf.net
- 5) バードライフ・インターナショナルは、絶滅の恐れがあると判定されたすべての種が掲載されている「IUCN レッドデータ・ブック」の鳥類についての「リスト作成責任機関」です。
- 6) 上記文章中の鳥の学名は以下のとおりです。
- | | |
|------------|----------------------------------|
| ジャワトサカゲリ | <i>Vanellus macropterus</i> |
| バライログモ | <i>Rhodonessa caryophyllacea</i> |
| カンムリシロムク | <i>Leucopsar rothschildi</i> |
| バンガイヒタキ | <i>Eutichomyas rowleyi</i> |
| ミンドロヒムネバト | <i>Gallicolumba platenae</i> |
| ソデグロヅル | <i>Grus leucogeranus</i> |
| クロツラヘラサギ | <i>Platalea minor</i> |
| ヘラシギ | <i>Eurynorhynchus pygmeus</i> |
| カラフトアオアシシギ | <i>Tringa guttifer</i> |